

2022.

2/8. No1

アワードの受賞.

ダスキンの政策発表が2/1にありました.

今年はリモート対応が更に進んだので、弊社からは誰も現地参加はしないように致しました。

現在、やれる事を行っても濃厚接触者や感染者の報告に絶えません。一層引き締めて行きたいと思います。

さて、嬉しい事に今年もダスキンアワードビジネス部門で1位を獲得する事が出来ました!! 連続での受賞は弊社の長所が見える形で示されていると感じました。日本で一番のビジネス商圈地域に於いて、

ずっとNo1です!! これは皆さんの努力のおかげです。本当にありがとうございます。アワードもそうなのですが、日頃売上を増やす事や新規の契約を獲得する事が注目されがらです。

でも、今の契約を守る事でも多大なる貢献を陰ながらしてくれている人がいる事も忘れてくありません。全店でみればほんの一例ですが、昨年より、今年にかけて八王子店の大口顧客で見直しにかかり、激安メーカーとの価格差を検討される形となりました。

すぐさま私は古屋店長に相談し、別店舗の責任者への解約防止に協力を要請しました。なんとしても解約を止め、働き手を守りたいという思いと、これを機にお客様に価値をしっかりと認識して貰いたいという願いです。

そして、彼で駄目だったら諦めがつくと思いました。多忙な最中、快諾してくれ、結果は、商品の調整を加えて減少したものの、見事に契約は継続していただける事となりました。古屋店長には、以前大口の契約の際にも、別店舗の管轄地域で陣頭指揮を執っていた事もありました。このように時に弊社の総力を注ぎ込んで最善の対策が構えられる事に、本当に頼もしく感じました。また、このような事例が全店でどれほど活かされているだろうか?と考えられました。

店舗が密集していても何かの分野で長けている人に相談をするならば、少なくとも一人で考えて手を打つよりも選抜肢は増え、良い結果に繋がりやすいのではないのでしょうか? 謙遜さ求められますが、

穂積会長という手本に倣えるのではないのでしょうか?

2022

2/8. No.2

いつも皆の得意な所を見付けて活かし、力を借してもらう事で頼り、感謝をしています。そのようにしたいものです。

先日、各店のリーダーが集まり、企業理念や使命について発表し合いました。座で一方向的に話される事を聞くスタイルよりもそれぞれが自分の思いを話し、他の人の質問にこたえたりするなど、本当によい形の集まりだったと思います。欲張りを言えば、むしろ思った事を自由に言い合える場にして行きたかったと感じました。「正確を言わなくては...」という雰囲気もまだ感じました。「自分は理念なんて必要だとは思わない」なんて事を言う人が居ても良いかと思えます。なぜそう思うのか？と皆で話し合いながら、一つの方角に向かって進むようになるのか本物の理念経営ではないでしょうか？

理念を空で暗唱できても、大して意味はありません。

松下村塾で、吉田松陰と門下生達は、いつもお互いの意見をぶつけ合い、自分達が何を「志」として生きるのか？人としてどうあるべきか？どんな理想に向かうべきかを話し合ったと言います。

このようなディスカッションスタイルは私達も見習えるのではないのでしょうか？

会長も私も、若い人たちがどのような思いで働いているのか、とても興味があります。逆に若者達には、会長がどんな思いで会社を興し、どんな苦労を経て今の規模まで成長させたのかを、直接色々質問しながら聞いて貰いたいと思います。今ある環境は決して当り前ではありません。私達の先輩方が積み上げた努力の結晶です。お善立てされてしまうと不足している事ばかりが目に向いてしまうものですが、最初は何もない所からのスタートを、誰かがしているのです。無いものだらけ、不足だらけです。

それが、今では、東京都の中でもトップ5に入り、その中でも成長している数少ない企業の一つとなりました。それだけお客様から受ける期待も多くなります。信頼に値する組織に成長するため、ゴツゴツと地道に足元を固める活動を徹底したいという決意が、また強まりました。

さて、今年の年次モットーは、私が提出したものが、たまたま選ばれる、採用されました。

「誠心誠意で接すれば、心の動かぬ人は無い。社内も社外も皆同じ。全ての人に愛を込め、うれしく楽しく仕事をしよう！」というものです。

2022 2/8. No3

昨年は色々な事がありました。ですので今年は、

働いている人達、その家族の方達、弊社に納品をしてくれている会社の方たち、取引先のお客様など、全ての人達と笑顔で繋がる事が出来るよう、誠心誠意尽くして接して行きたいという思いから書きました。深刻なトラウマが人との間に生いても、相手を敵として見るのではなく、誠心誠意を尽くし粘り強く良い人間関係を構築できる会社になりたいという事です。

数字で見えるアワードの受賞も嬉しいですが

働いている人を送り出してくださっている家族の皆様や、納品しにやってくる方々に良い会社だと思ってもらえる事の方が遥かに価値がある賞ではないでしょうか